

第 17 回 評 議 員 会 議 事 録



日 時 : 平成 31 年 3 月 22 日 (金)
15 時 30 分から 16 時 40 分まで
場 所 : サンセール盛岡



公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団

公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団第17回評議員会議事録

日 時 平成31年3月22日(金)
15時30分から16時40分
場 所 サンセール盛岡

【出席評議員名】

小笠原 義 文 小 山 正 子 鎌 田 英 樹 久 慈 竜 也
百 濟 和 夫 小 島 勝 子 津 野 牧 子 長 棹 のぞみ
平 藤 淳 藤 原 哲 松 田 栄 二

【欠席評議員名】

熊 谷 きえ子 千 葉 正 宏

【出席監事名】

梅 木 敬 時 水 本 紘 一

【出席理事名】

清 水 茂 幸 鈴 木 清 也 鈴 木 祐 子 高 橋 政 代
熊 谷 俊 巳 高 橋 徹 小 友 善 衛 菊 池 啓 子
小野寺 利 美

【欠席理事名】

なし

【議決事項】

議案第1号 平成31年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事業計画について
議案第2号 平成31年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団収支予算について

【議事の経過】

開 会

出席評議員数の報告 出席評議員数 評議員数13名中 出席11名

理事長あいさつ

議事録署名人の選出 議事録署名人 百濟和夫評議員、長棹のぞみ評議員

議 事

議案第1号

議案第1号 平成31年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事業計画について

～議案第2号

議案第2号 平成31年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団収支予算について

質 疑

(松田栄二評議員)

事業計画のうち総務企画課によるコンプライアンス研修の実施について、最近では適性を欠く情報発信ということで社会的に批判を浴びている例も聞いているが、研修には個人情報の適正な取扱いについても含まれているのか伺いたい。

(事務局)

職員研修として年3回の様々な研修を行っているが、コンプライアンス研修については事業団全体での研修のほか、各施設で毎月の研修を実施している。事業団のコンプライアンスマニュアルは県のコンプライアンスマニュアルに準じて策定しているが、その一項目に情報セキュリティという項目がある。昨年度の情報セキュリティの例では、県の情報政策課の担当課長を招聘して研修をし、それを各施設へ伝達研修するという方法をとった例がある。平成31年度については、情報に関してだけの研修はいまのところ予定していないが、同様な手法で県のコンプライアンスマニュアルと同レベルの研修を行ってまいりたい。

(松田栄二評議員)

最近では情報発信の仕方や手法が非常に複雑になってきていると同時に、簡単に発信できるということがある。各階層の方々のレベルによるかと思うが、なかにはアルバイトの方々からの発信が問題の原因になることもあるので、中央で研修されたものを各施設でも徹底する機会を設けて頂ければ幸いである。

(久慈竜也評議員)

松田評議員のご意見と関連するが、各施設の事業計画の中にフェイスブック等のSNSを使う施設が何カ所かあり、おそらく各施設にその担当者があるかと思うが、発信する前には館長やある程度の責任を持った方が確認したうえで、ひとりだけに頼らない形で、規制を守っているかや人権の問題に配慮されているかを確認する事があって然るべきだと思われるのでどうかご理解願いたい。

各施設とも概ね建設されてから約50年経ち、老朽化している施設もみられ、当然、利用者に対する安全確保についても計画に書かれているわけだが、総括部分の基本方針のなかに施設の老朽化に関する話が欠けているように思う。そういう部分をもう少しアピール、発信する必要があるのではないかと。また、生涯スポーツの振興については「生涯」だけでなく「障がい」という部分についても意識されたい。障がいは障がい者施設だけに行けば良いというところではなく、普通の施設でも障がい者の方々が来られて体験や学習ができるとか、青少年の家に関しても障がい者に配慮したサポートの仕方があればなおありがたい。

(事務局)

情報発信については担当者任せにならないよう複数の目で確認したうえで施行するよう徹底してまいりたい。施設の老朽化について、一巡目の国体で建設された施設は後追いの形で少しずつ整備されているものの、なかなか難しい面がある。「生涯」と「障がい」については、運営面にて一般の利用施設においても障がい者が利用しやすいよう配慮していきたい。我々としては障がい者についても生涯にわたってスポーツ振興等が図られるという立場で、やれることを探しながら対応してまいりたい。

(鎌田英樹評議員)

各施設の利用者数と施設利用料収入について教えて頂きたい。例えば、利用者数というのは自主事業と受託事業の人数だけでなく、施設を借りる一般的な人の人数も含めた計画数値なのか。

また、青少年の家で受託事業を行っているのに、その施設利用収入が入っていないのはどういうカウントの仕方なのか、その仕組みを伺いたい。

(事務局)

各施設の説明のところに、それぞれ利用者数と施設利用料収入という欄があるが、利用者数については指定管理申請時に見込んだ数字を基本にしている。施設管理には施設管理料という収入があるが、それと別途に、施設利用料収入とは条例で決められている各施設の利用料の上限に基づき手前どもで検討協議した利用料の収入の積み上げである。

青少年の家については、スケート場を併設している施設があり、そこでは利用料を頂き事業団の利用料収入としている。いわゆる宿泊研修利用の分については事業団の収入にはならず、県に直接利用料が入るといふ協定、仕組みになっている。

(鎌田英樹評議員)

例えばビックブルズが体育館を借りて試合をして3,000人が入ったとしたら、それは利用者数にカウントされるのか。

(事務局)

ビックブルズの試合開催の例でいうと、選手、運営スタッフ、お客様、そのほかに報道の関係者など、来た方々全員を利用者ということでカウントしている。日常の部活動やサークル活動で利用の場合も来た方々全員をカウンターでカウントしている。

(小笠原義文評議員)

県営体育館の取組みの重点等に「盛年ソフトテニスミックスダブルス大会」とあるが、これは「青年」や「成年」ではなく「盛年」で合っているのか。

- (事務局) 「盛年」で合っている。ソフトテニスのミックスダブルスの試合で、年齢制限をペアで100歳以上として行われている大会である。
- (平藤淳評議員) それぞれの施設で中高齢者や女性がポイントとされているが、現在、県の推進計画を作成しているなかで、スポーツ実施率が一番落ち込んでいるのは勤労者層であり、そこを上げていかないと全体のスポーツ実施率は上がらないというデータが出ており、新しい計画の中でも重点的に取り組むことになっている。中高齢者や女性というのも大切だが、勤労者層が参加しやすいような自主事業を検討していただければ岩手のスポーツがますます栄えるだろうと感じる。
- (事務局) 実際のところ、事業団で行っている事業は中高齢者や女性と冠しなくても、参加していただけるのは中高齢者や女性の方が多いのが実態である。いわゆる勤労者層の参加は大きな課題と考えており、利用者数だけでなく実態としてスポーツに親しむ方を増やすという視点も意識していきたい。
- (百濟和夫評議員) 陸上競技場の改修工事の概要が分かれば教えて頂きたい。
- (事務局) 日本陸上競技連盟から2種公認を受けるための事前審査があった。その中でも大きいのがタータン部分の劣化である。陸上競技は長距離になると、どうしても1レーンと2レーンが減ってしまうため、3レーンあたりまでを中心に張り替えを行う。それと競技規定が変わったことにより、走り幅跳びの2つあるピット間の走路の幅を広げる。また3,000mを走るときには9レーンなくてはならないということで現在8レーンのところ1レーン増加する。さらにレーンを囲っているステンレス枠の取り換え、その他全般の塗装のし直し、障害物走の水濠の深さの調整などを、雪が降る前にやらなくてはならないということで、工事は7月から始まり、実際に使えなくなるのは8月5日からということで県の陸上競技連盟と調整しながら進めていきたい。
- (小山正子評議員) 被災されて盛岡市に引っ越して来た方々を対象とした事業は検討されているか。
- (事務局) 事業計画では内陸にいる被災者を対象とした事業は計画していない。事業団では、県の委託事業として被災地支援事業を行ってきたが、最初とは状況が変わり、被災地の体育協会や役場の体制が整ってきて各市町村でも自前で事業が行われるようになり、生活再建される方々も増えて、被災者支援という形はとらなくなった。ただし、要望があ

った際は自主事業として冬場を中心に継続してく予定である。しかし、それは全県対象としていて、盛岡にいる被災者の方々だけを対象にしたものではないが、要望があれば事業団として何かできないか一緒に考えていきたい。

(小山正子評議員)

今度、盛岡市青山町に復興住宅ができるため、青山町近郊に体育施設が多くあることも考え合わせると、そういった方々で集まって何か楽しめるような事業があれば良いと思った。

(小島勝子評議員)

岩手県レクリエーション協会では今年3月をもって7年5ヶ月の被災地支援が終わった。県の事業として請け負ってから約1000回、9会場、9地区を1年間に120回というスパンで回ったところである。その他に、その地域に私たちが行かなくてもレクリエーションが出来るようにサポーター養成も行った。

ご要望があれば今後とも積極的に活動していきたい。

(藤原哲評議員)

事業計画書の基本方針に「ラグビーワールドカップに向けた機運醸成」と書かれているが、ラグビーに関連した事業がない。具体的にどのようなことをするのか伺いたい。

(事務局)

実際に体を動かしてラグビーをする事業が出来ないかも検討した。平成30年度は運動公園で釜石SWの協力を得て事業を行った経緯もあるが、当該年は本番間近で難しいということだった。しかし、スポーツ振興事業団としてこのイベントをどう盛り上げるかということを考え、釜石ラグビーワールドカップ実行委員会が設置している釜石ラグビー応援団というものに手を挙げ、応援団の一員となった。具体的に何をするかというと、実行委員会から応援グッズや旗を借りて、各施設の大きいイベントの際に掲げることでPRしていく予定である。事業として打ち出せるものではないが、こういうところで盛り上げていきたい。

また、釜石の近くにある陸中海岸青少年の家ではサポーターの方々の宿泊場所として予約をいただいております。期間中は所バスの提供や宿泊利用で応援していく。すでにポスターやラグビーボールを用意しており、宿泊や体験学習に来る子ども達にもワールドカップがあるということを広く伝えていきたい。

(小笠原義文議長)

宿泊予約はたくさん入っているのか。

- (事務局) 宿泊は岩手県の方で取りまとめをしており、県の方で貸切状態である。
- (津野牧子評議員) 日頃様々な形でイベントの告知をされていることと思う。小学校を通じてチラシ配布もされているようだが、保護者の方々からもう少し早くお知らせいただければ参加できたのという声がかつても聞かれている。チラシを配布するタイミングは各学校まかせなところもあるので難しいとは思いますが、出来るだけ多くの方に参加していただけるように告知を早くしていただけるとありがたい。
- (事務局) なるべく早くお知らせできるように頑張りたい。
- (鎌田英樹評議員) 県民ゴルフ場の自主事業の定例コンペの区分を見ると50歳以上でシニア、55歳以上でミッドシニア、65歳以上でグランドシニアとなっているが、例えば75歳を越えたような年配の方が良い成績を取りたいと思っても65歳からの区分だと難しいと思われる。例えばシニアを60歳以上にして、それ以下はヤングにするというような数字の見せ方や、カテゴリーを年配の方にもっと優しくしてはどうかと思う。50歳以上をシニアというのは抵抗感があるのではないか。
- (事務局) 県民ゴルフ場のコンペ利用者は常連化しており、参加者はほぼ60歳を越えており、50歳以上、55歳以上の参加者というのは数名というのが実態である。コンペは水曜日か木曜日に開催しており、このコンペを企画した目的は平日の利用者の確保である。50～60歳の勤労者世代はほとんど利用がなく、年齢によって不利益になるということはあまり感じていないのが実態だが、貴重なご意見なので参考にさせていただきたい。
- (久慈竜也評議員) 36ページの予算書の事業収益の施設利用料金収益で、前年度が87,146千円、今年度が89,437千円となっているが、31ページの参考資料の施設利用料金収入と一致するわけではないのか。
- (事務局) ご指摘のとおり本来ならば一致すべきところとして見て頂いているかと思うが、事業計画に記載されている利用者とそれに応じた利用料収入については、指定管理申請時の数字を基本にしているものの、利用料収入だけについて言うと、毎年度の予算については若干の料金改定分などの個別のケースを想定して含んでいるため参考資料の数字とは一致しない。

採 決

議案第1号及び議案第2号については、原案どおり満場一致で承認された。

その他

(事務局)

(組織改正図の説明)

4月から事業団の組織改編を行う。

現状では事務局以下を総務課、振興課、施設課の3課体制としているが、このうち振興課については県の生涯スポーツ振興事業の見直しにより、県からの派遣職員が現在4名いるうち2名減員となる。このことから、これまで生涯スポーツ振興事業全般の企画、調整、運営、総括を担っていた振興課を総務課に統合して総務企画課とする。総務課の持つ総合的な調整機能と一体化させることで、より効率的な事業展開を図ることとしたものである。総務企画課には、法人の管理業務、予算、経理、庶務等を担う総務班と、これまで振興課が担当してきた生涯スポーツ振興事業を担当する企画班を置き事業展開を図っていく。なお、総務班と企画班の両方に目配せできるように施設長級の主幹の職を新設配置し、これまで以上に各施設間が連携するようしっかりと対応してまいりたい。

閉 会

上記記載に相違ないことを認める。

平成31年 〇月 〇日

議 長 小笠原義文 

議事録署名人 百濟和夫 

議事録署名人 夏野のさみ 

